

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
3	クリエイティブ フロンティア	地理歴史	地歴演習 世界史	文系Ⅱ	選択	2

講座のねらい

3年次の地歴演習・世界史では、主に独自の教材、問題集を使用し、それらを活用することで、原始・古代から現代までの歴史を、復習を兼ねて系統的に理解していきます。古代の奴隷制社会、中世の封建制（農奴制）社会、（近世）近代の市民（ブルジョワジー）社会、現代の市民大衆社会の到来といった各歴史区分をしっかりと捉え、かつ歴史の縦軸（各国史）を把握したうえで、各時代おのこの地域、それぞれの文化圏における社会のあり方、その時代の推移、王朝の変遷、歴史的事件などを、横軸を踏まえて理解していきます。こうすることで、世界史の細かい用語まで記憶し、入試問題とその傾向に対応し、世界史おける全時代と、世界的視野を伴った地理的理解の達成を目指していきます。

使用教材及び問題集

教科書 『世界史B』（東京書籍）
 資料集 『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）
 学習ノート 『要点マスター世界史B 整理ノート』（東京書籍）

授業の内容と進め方

教科書の記述に沿って授業を進めていきます。授業を補完したり発展的に進めるために資料集を使用します。いくつかの項目については、プリントや視聴覚教材などを用い、興味、関心がわくよう工夫します。

定期考査や校外模試（実力考査）の対策として、小テストや問題演習を行い、用語理解の定着をはかります。入試に備え、1・2年次に学習したことも併せて、復習を繰り返すことが肝要であり、そうしたことも考慮します。

講座の到達目標

- 1、歴史の知識を多く獲得することで、社会に対して関心を広げ、また高め、そして深く考えることで、生徒の将来に有為となるようします。
- 2、間近に迫る大学入試や自身の目標に対して、到達しうる知識を身につけ、そうしたことへの意欲を高めます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査の得点を主資料とし、授業態度、課題などの提出物、小テストなどで総合的に行います。ノート提出や小テストは適宜行います。定期考査は、使用する問題集を中心に授業で学習した内容を出題します。入試を念頭においた発展的内容や入試問題も出題することがあります。

日々の努力が入試の場面で力を発揮します。定期考査では高得点をめざしてがんばってほしいと思います。

備考

講習では、1年を通じた平常講習と、夏期講習、冬のセンター講習などを予定しています。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

- 1 古代オリエント
- 2 古代ギリシア・ローマ
- 3 フランス史
- 4 イギリス史
- 5 ドイツ・オーストリア史

2 学期 学習計画および学習内容

- 6 朝鮮史・東南アジア史
- 7 中国史
- 8 イスラーム帝国史
- 9 アメリカ史
- 10 ロシア史
- 11 大学入試問題演習

3 学期 学習計画および学習内容